

オール和歌山市の力で実現する コロナ禍からの脱却と新たな出発

特集
令和5年度
予算

令和5年度予算は、オール和歌山市民の力や市内全域のポテンシャルを活かして、オール和歌山市で、「脱コロナに加え、新たな希望や可能性に向けて踏み出す予算」と位置づけて予算編成を行いました。

02 県都として活力にあふれたまち

未来をつくる人を呼び込む

- 移住者に対する支援金の交付 ▶ 2,030万円
- トライアル和歌山市の利用促進 ▶ 120万円
本市で居住や就業、学校生活などをお試しで体験した方やワーケーションを行った企業に、活動にかかる経費の一部を支援

まちを次のステージへと進める成長の共創

- 南海和歌山市駅周辺の活性化 ▶ 509万3千円
・旧市民会館跡地等の利活用
・かわまちづくりの推進
- つつじが丘総合公園の整備 ▶ 2億1,750万円
「にぎわい・スポーツ公園ゾーン」およびリニューアルする「中央公園」の整備工事に着手
- 紀の川緑地等の活用を推進 ▶ 2,330万円
グラウンド整備や広場リニューアル、未開発エリアにスポーツ・アクティビティ施設、散策や水辺で親しむエリア等検討し、紀の川緑地全体の総合的な整備を実施

歴史ある城下町の豊かな自然と文化の継承

- 有吉佐和子文学賞の創設 ▶ 154万1千円
有吉佐和子氏の顕彰に加え、文学に触れ本市の文化的風土を醸成することを目的として、作品を募集
- 扇の芝の整備 ▶ 2億8,800万2千円
用地買収を継続するほか、新たに石垣の保護および今後の段階的整備に向けた設計業務を実施
- 花王株式会社とのSDGs連携推進
海洋プラスチックごみ問題の解決を目指し、海岸漂着PETのリサイクル化に向けた取組を加速



JR和歌山駅東口の魅力向上

駅前広場や現駐輪場用地といった公有地を対象とし、民間活力を活かした賑わい交流空間を創出 ▶ 289万3千円



01 ふるさとで学び働けるまち

地域産業の成長促進

- 所得向上補助金の創設 ▶ 2,000万円
一定以上の設備投資を行い雇用者の給与額増加に取り組む製造業に対し設備取得価格の一部を補助
- あなたの就職を応援 ▶ 983万3千円
・働く女性の活躍推進
合同企業説明会（託児あり）を実施
・わかやま就職応援プロジェクト
学生をはじめ若年層を対象とした各種就職支援を実施
- 農業経営発展支援事業補助金 ▶ 750万円
一定要件を満たす者に対し、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取組の一部を補助
- 姉妹都市等での和歌山産品販路拡大を支援 ▶ 176万円



つながりにより新たな未来を創造

- 学生と商店街が連携した商業活性化事業を実施 ▶ 233万2千円
- 音楽大行進および子どもなかよしまつりの開催 ▶ 819万4千円



”稼げる観光”の推進

- けやき大通りイルミネーション ▶ 1,500万円
JR和歌山駅から和歌山城までを結ぶけやき大通りをイルミネーションで彩り、夜間の魅力向上を図る



- クルーズ船の誘致 ▶ 544万3千円
- 和歌祭・和歌浦花火大会 ▶ 843万4千円



四季の郷公園にグランピング施設

一年を通してより楽しめる公園を目指し、事業者によるグランピング施設の整備にあわせ、四季の郷公園のさらなる活用を推進 ▶ 3,699万3千円



※イメージ図。施設レイアウトは変更予定。

公営企業会計予算 395億901万4千円 前年度比3.8%増

・水道事業会計及び公共下水道事業会計で、動力費の増加や新規事業の着手などにより増
・令和5年度より農業集落排水事業特別会計および漁業集落排水事業特別会計が公営企業会計に移行

予算合計 2,863億9,611万3千円 前年度比1.1%増

一般会計予算 1,472億6,578万7千円 前年度比2.2%増

・退職者の減少による人件費の減
・障害福祉サービス等給付費の増などによる扶助費の増
・消防指令システムの更新などによる投資的経費の増
・燃料高騰などによる物件費の増

特別会計予算 996億2,131万2千円 前年度比1.4%減

・介護保険事業及び後期高齢者医療における給付費などの増
・土地造成事業で、令和4年度で販売対象区画が完売したことに伴い、当該特別会計を令和5年度末をもって廃止予定

誰もが安心して暮らせる優しいまち

市民のいのちと暮らしを守る基盤づくり

● 防災ラジオの貸与 ▶ 83万8千円

屋内にいる方が防災情報を迅速に受信できる防災ラジオを高齢者世帯や障害者世帯等に貸与（高齢者だけの世帯など一部制限あり）



● 消防指令システムの構築 ▶ 9億8,354万1千円

安定的に継続した119番の通報、迅速な出動を行うため、高機能消防指令システムと消防救急デジタル無線設備を更新



● 送水管複線化に着手 ▶ 1,210万円

紀の川以北地域の安定供給に向けて紀の川横断部の複線化に取り組む



● 廃旅館の解体撤去 ▶ 6,971万8千円

近隣住民の安全、災害時の避難経路を確保するため、空家特措法に基づく略式代執行により解体撤去を実施

便利で暮らしやすい持続可能な地域づくり

● 汚泥の堆肥化に向けた実証実験 ▶ 1,025万1千円

現在焼却処理をしている汚泥の一部を、民間企業と連携して堆肥化する実証実験を行う

● 行政手続きのオンライン化を促進 ▶ 492万6千円

マイナンバーカードを活用した本人確認や、手数料のキャッシュレス決済など、オンライン申請の機能を拡充

誰もが生きやすい包摂的な社会の実現

● 高齢者の見守りサービス ▶ 32万2千円

事故の未然防止、家族の負担軽減のため、IoT / ICTを活用した見守り端末を3か月間無料で貸与し、見守りサービスの導入促進を図る

● 高齢者補聴器購入費の助成 ▶ 150万円

聴力低下により日常生活の営みに支障がある在宅の高齢者に対し、補聴器購入に要した費用を助成

健康づくりへの支援

人生100年時代に向けた、市民による自主的な健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を図る

▶ 792万4千円

- WAKAYAMA つれもて健康体操
- わかやまシニアエクササイズ
- 自主グループに対する表彰式の開催



子供たちがいきいきと育つまち

未来へつなぐ子育て支援の充実

● 18歳までこども医療費無償化を拡大

▶ 13億7,172万6千円

0歳から18歳（到達年度末）までの方の保険診療にかかる医療費が、令和5年8月から無料化

● 出産・子育て応援給付金 ▶ 1億4,441万2千円

妊娠届出時と出生届出後に給付金を支給し、経済的支援を行うとともに、妊娠期から出産・子育てまで寄り添う伴走型の相談支援を実施

● 一時預かり利用者の負担軽減 ▶ 379万1千円

所得の低い世帯等の一時預かり利用料を軽減

● 保育体制の強化 ▶ 2,863万9千円

保育士の業務負担軽減と児童の安全確保のために、補助業務者の配置を支援する制度を創設

8月から



未来を切り拓く力を育むひとづくり

● 教育のハイブリッド化 ▶ 975万8千円

教室でも自宅でも授業に参加できる環境を整えるため、市立小学校の全ての授業教室に大型ディスプレイを導入し、対面授業と組み合わせた効果的な活用を行う



● ヤングケアラーへの支援 ▶ 20万1千円

ヤングケアラーのおそれのある子供の早期発見と適切な相談援助により、子供が安心して子供らしく生活できる環境作りを支援

心身の成長を支える給食の提供

● 中学校全員給食化の推進

市立中学校の全員給食の早期実施に向け、給食センター整備・運営のための実施方針の策定等を進める

▶ 2,332万8千円

● オーガニック給食の推進

子供たちの健康と食育の充実を図るため、小規模校においてオーガニック給食を試験的に実施する

▶ 13万8千円

